

屋内スケート施設あり方検討会議報告書(素案)に対する御意見一覧

- 1 意見の募集期間 令和5年2月15日～令和5年3月15日
- 2 提出された御意見の数 意見者数90人(意見数125件) ※意見の分類上、意見数については125件とカウント

3 提出された御意見

(1) 全般(整備希望等)について	10件
(2) 必要性について	1件
(3) 運営形態等について	8件
(4) 仕様(規格)等について	8件
(5) 期待される効果について	7件
(6) 持続可能性について	5件
(7) 利用者確保について	8件
(8) スペシャルオリンピックスについて	2件
(9) カーリングについて	15件
(10) 立地について	61件

(1)全般(整備希望等)について 10件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>もしかしたら山形県内に屋内スケートリンクができるかも?と言う噂を聞きこちらに意見させていただきます！私は雪の降らない県から15年程前にお嫁にやってきました。今では生粋の山形県民よりも山形の良い所を見つけられる自信があるぐらい山形が大好きです。人は優しいし、自然は美しいし、中華そばは美味しい…そんな私も一つだけ残念に思っている事があります。それは冬に運動できる場所が少ない！って言う事実。そりゃあライザップやルネッサンスみたいな一年中天気を気にしないで通える施設は存在するけど、夏は外で散歩やらジョギングする私にとって年中会員費を払って通う必要がないのですよ。それに会員費結構高額だし。雪無し県で育った私にとって雪が踏み固められた道を散歩するのは至難の業なんです。(これまで歩いてるだけで何度転んだか)という事でここ数年『夏に痩せて冬太る』と言うサイクルを毎年繰り返しております。じゃあ、落合のスケート場に行けばいいじゃん！と考えます。しかし、唯一行ける週末に雪や雨が降ったり、平日の夜は一般客が利用出来なかったりと案外制限があるのです。どうか、どうか、どうか！私のような冬季限定運動不足県民に救いの手を！屋内スケートリンク作ってくれたら嬉しいですよ！</p>
2	<p>ぜひ県で増設していただきたいです。よろしく願いいたします。</p>
3	<p>・誰もが気軽に、楽しみながら身体を動かせる場所として屋内スケート場が整備されることを期待します。 ・季節の変化が大きいわが県において、天候に左右されことなく利用できる屋内施設の意義は大きいと考えます。県内には子ども向けの室内遊戯施設がいくつかありますが、スケートは年代を越えて家族を含めてみんなで楽しむことができます。</p>
4	<p>是非設置してほしい。屋内リンクは冬場の運動不足解消にぴったりである。屋内スケートはもっとも気軽な冬季スポーツである。すなわち、スケートリンクは雪山ではなく市内への建設が可能となり、入場料やスケート靴のレンタルを含めても2000円程度であるため、高校生などは保護者なしで気軽に利用することができる。現在の落合も多くの高校生が利用している。これは、駅から徒歩圏内というアクセスの良さも起因している。 もう一つの冬季スポーツのスキーは、大がかりな道具必要となり、ゲレンデへのアクセスに車がほぼ必須なこと、運転慣れていない方が雪山へのアクセスすることを躊躇することなどの問題がある。そのため、小中高生は大人の付き添いが必須であるため気軽に向かうことができない。さらにゲレンデは広いので、付き添いに多くの保護者を必要とする。リフト券や道具のレンタル料も高く、全てレンタルする場合1万円/人は必要とする高級スポーツとなる。 屋内リンクでは1箇所ですべてを見渡せるため幼児から中学生までの児童、生徒への保護者の付き添いも、必要最小限でよい。</p>
5	<p>来年度でスケートが終了するとお聞きし残念に思っています。屋内スケート施設を山形県内にぜひ作っていただきたいです。 北海道の小学生が授業でスケートを取り入れていると知り、山形県でも体幹をきたえる運動として、幅広い年齢層の方々に広まったら良いなと感じました。 フィギュアスケートやアイスホッケーなどの選手を目指している方にとって、練習や大会、発表できる場所が身近にあることは何よりも強みになります。 スケート以外のスポーツやイベントにも利用可能な施設であれば、県民の人たちからも、受け入れやすく、県の活性化につながりそうです。 2022年山形県の幸福度は7位で、幸福度が高めであると知りました。楽しめる施設が増えることは、より幸福度も高まり、県へ興味を持つ方が増えるのではないのでしょうか。</p>

6	<p>屋外にはスケート場がありますが、天候にも左右されやすく、小さな子供、高齢者、障がい者にとっては、利用しにくいと思います。屋内であれば、誰でも楽しむことができ、特にこもりがちな冬に、気軽に体を動かせる場所として、必要ではないかと思います。体育館など、老朽化しているところもありますが、まず無いものを作っていただけたらと思います。</p>
7	<p>スケートリンクをつくってほしいです。いつでもすべれるやねのあるリンクがほしいです。おねがいします。</p>
8	<p>山形県にはしばらく屋内スケート場がなく、私も隣県に活動を移し、移動時間をかけて通っています。同様の仲間も多数存在しています。是非とも屋内スケート場の建設を切に願っております。</p>
9	<p>アイスホッケーは50歳以上の大会(女子選手参加可能)があり、2023年に私(50代)が特別に参加させてもらったのは60歳以上のプレーヤーのチームでした。以前には札幌オリンピック(1972年)に出場した70代の選手と対戦したこともあります。ルールを配慮すれば高齢者、女性とともにプレーすることができます。 女性アイスホッケーはプレーヤーもチームも数がすくないため、九州地方などではいくつかの県の合同にしないと全国大会に出場できません。東北地方にはすくなくとも4チーム(中学生以上)はありますが、例えば郡山市の選手は仙台市のチームに参加してプレーしなくてはなりません。女子プレーヤーが増えチームが増えれば他県まで行く必要もなくなると思われます。 冬季スポーツは学年最後の試合が1-2月になるため、進学に大きい影響がでてしまいます。夏秋の大会があれば進学のために1-2月の大会出場を諦める選手には朗報ではないでしょうか。ある程度設備が整ったリンクができれば、夏秋に学生やジュニアのスケート大会を開催したり招致したりできると思います。</p>
10	<p>先ずもって、「屋内スケート施設あり方検討会議」を立上げ、ご議論くださった点、誠にありがとうございます。最終報告の内容如何を問わず、ご当局の対応に心より御礼申し上げます。</p> <p>先日(3月7日18時)、NHK山形にて、『やまがた部活応援団』企画で、「鶴岡の小学生アイスホッケーチーム ブラックブリザード」の活動が放映されました。自チーム人数が少ない中、秋田県チームに入れてもらい、秋田県チームのユニフォームを着用し大会出場し準優勝との内容でした。鶴岡チーム小3のキャプテンは「人数を増やして自分のチームで出場したい」と言っていました。鶴岡市には降雪など自然条件に左右されるものの屋外スケート施設があるため、このような発言をする児童がいるんだと思いますし、この競技に未来があることを意味するものと思います。同様に「あった施設が無くなった山形市近郊」の子供たちにも言えます。こちらも細々ではありますが、アイスホッケー関係者やご父兄のご理解と子供育成のためと、近郊(仙台市や郡山市)の施設を利用し、練習を終え帰る時刻はまさに「シンデレラタイム」といった過酷な部活動を行っています。昨今、国際的にもスケート競技での日本や山形県関係者の優秀な成績が報道され、また、スペシャルオリンピックなど氷上を舞台とする障害者スポーツへの注目度も高まっています。</p> <p>山形県を舞台とした「べに花国体冬季大会スケート・アイスホッケー競技会」「スペシャルオリンピックウインターゲーム2008」、相当時間は経ちましたが、今でも山形県をワンチームにする拠り所だと思います。未来の山形県を牽引する子供たちが健全に多様な環境で生き活きと成長出来るよう、皆の記憶にあるうちに「かつてあったモノ(屋内スケート場)」を「あるよう」していただきますよう切望いたします。</p>

(2)必要性について 1件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>屋内スケートリンクは要らないと思います。</p> <p>県内でスケートで主な実績を残しているのはスピードスケートの選手達なので、フィギアスケートの方々の人口も少ない事からスケートリンクの新設は必要ないかと思ます。その建設費用予算があるのであれば、他の体育施設の新設、整備等に回した方が賢明だと思います。</p>

(3)運営形態等について 8件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>新潟県にあるような複合的な巨大なアイスアリーナを建設することには費用面で反対です。</p> <p>また、八戸のFLAT HACHINOHEのような多目的アリーナは、酒田市のスワンリンクの収益をよく検討すべきだと思います。</p> <p>山形でもプロバスケットボールチームの活躍が目立ちますが、スケート場は独立して通年で利用できるようにしてほしいです。</p> <p>青森にはアイスホッケーのプロチームがあり、スポーツ観戦の面でバスケットと重なるところがありますが、山形には現状ホッケーチームはないと思います。それよりは県出身のオリンピックもいるスピードスケートを一層強化すべきだと思いますし、フィギュアの選手を輩出できるような取り組みをしてほしいです。</p> <p>具体的にはクラブチームを作り、国内・海外から指導者をお招きしてほしいです。</p> <p>南陽市のシェルターなんようホールは、辺鄙な場所にある収容1500人の小さなホールですが、木造に特化するという強みを活かして、著名なアーティストの公演を重ねています。アーティストがこの環境で演奏してみたい、コンサートを開きたいと思う施設であることだけがその理由だと思います。</p> <p>山形の屋内スケート場には、コンパクトでスケートに特化した、スケート関係者に望まれる施設を希望します。</p> <p>選手がアップやミーティングに使う部屋、振り付けを確認する鏡のあるスタジオ、スケート靴のまま入れるトイレ、応援や観覧の席などです。</p> <p>蔵王ヒルズサンピアのスケート場がなぜ閉鎖したか、一般市民がどれだけ屋内スケート場を必要としているか、必要としているのは誰なのかもう一度考えてほしいと思います。</p> <p>リゾート開発して建設した複合スキー場も同じことです。今も存続しているスキー場は競技者に必要とされている施設だと思ます。</p> <p>整氷を維持することには莫大なお金がかかります。あれもこれもと欲張って、屋内スケート場という目的を見失うことがないようにお願いしたいです。</p>
2	<p>是非とも通年営業の屋内型スケートリンクを造ってください。日本国内を見ても老朽化等で閉鎖しているところが多く、折角世界に誇れるスポーツになってきているフィギュアスケートをもっと盛り上げるためにも大会を開催できる大きさのリンクを造っていただきたいです。練習環境がとても大切な競技の1つですので、国内外の他の地域からも合宿式の練習の出来る場所は求められています。</p> <p>加えて、競技者目線だけでなく、生涯スポーツとしての魅力もあるので多くの人に利用していただけたとも思ます。</p> <p>1つの拠点として発信できるようになれば、世界中の人にも知られ、来て貰えると思ます。</p>

	<p>県内からスケートリンクが無くなってから大変困っています、落合のリンクは手すりも無いし天候を見てから・途中で帰る・2月上旬迄しか滑れない。スケートは高齢者の健康維持に大変良い、平衡感覚・下半身強化など生涯スポーツです。</p> <p>3 スキー・ボードは道具やウェアに金がかかるし交通費もリフト代も掛かる、スケートは身近な健康維持に良い、子供から大人まで・親子の身近なコミュニケーションに最高です。要件：人口密度多い区域に・年間オープンが好ましいが他の行事に何時でも変換できる施設(最低5ヶ月はオープン欲しい)・公的場所を活用して早急な実現をお願いいたします。兎に角高齢者です、一日も早く屋内リンクで滑りたいです。孫たちのスケート教室が盛んになるのが楽しみです・・・宜しくお願いします。</p>
	<p><通年営業型であること> 夏季の維持費用に関しては確かにネックですが、利用者をつなぎ止めるには通年営業のリンクが必要なのではないかと思います。私自身、観るのは好きですが滑れないので、解説者がステップの名称を話していても、その足の動きがよく理解できません。習ってわかるようになるのであれば習ってみたいのですが、けがのリスクも考えると、まったく滑れない身で県外に習いに行くのは現実的ではありません。また、覚えが悪いので、もし地元リンクがあったとしても、夏は氷がなくて滑れなければ、秋に再開したときには1からスタートになるのではという気がします。どうせなら、一年中練習できる環境が欲しいです。</p> <p>4 カーリングでも、オリンピック等で興味を持って問い合わせ、練習場所が盛岡だと知ると諦めてしまう人がいるという話を新聞記事か何かで見た記憶があります。例え夏の間だけだとしても、盛岡に行かなければならないのであれば、結局、夏の間競技から離れてしまうことにならないのでしょうか。</p> <p>競技力という点でも通年リンクが望ましいと思います。2022-2023シーズンのフィギュアスケートの東北・北海道選手権大会には、全カテゴリーで計88名がエントリーしています。所属先を道県別にみると、福島県及び山形県は0人、秋田県は1人です。人口規模という面もあり、北海道、宮城県、新潟県のクラブ等に所属する選手が2桁の人数であるのに対し、青森県と岩手県は10名未満ではありますが、通年リンクのある道県からは複数の選手のエントリーがあり、通年リンクがない県からのエントリーがないか、1人だけという状況です。フィギュアスケートの場合、近年、アカデミーの設立等により選手が偏在する地域があり、その地域事情の影響で、全国的な大会に出場するには、予選であってもかなり高い競技力が求められています。</p> <p>氷に親しむきっかけ程度であれば冬季営業のリンクでも良いかもしれませんが、もし本気で競技に取り組みたい人がいるならば、継続的に練習できてスキルアップできる環境が必要だと思います。また、FLAT HACHINOHEのような、通年営業でも他の利用方法を取れる形態であれば、氷上競技の選手は夏の間も氷上で練習できるとともに、他のスポーツでも涼しいところで体を動かすことができるので、炎天下での熱中症を恐れずに取り組みめると考えます。</p>
	<p>5 山形県内にスケートリンク設置の検討をしていただき大変感謝しています。夏でもプレーできるリンクができることを期待します。縦60m、横30mのアイスホッケーフルサイズのリンクがあるといいです。</p> <p>山形県だけでなく福島県、秋田県には通年営業のリンクはありません。リンクが営業していない春から秋にかけては宮城県や岩手県、青森県、関東地方に遠征する必要があります。私自身いつも仙台市に通ってアイスホッケーをプレーしています。ホッケーのできるリンクは数が少ないために、長距離移動して練習参加することはよくあることです。また練習枠も数少ないので複数チームでの練習や、飛び入りやビジター参加練習ありで交流も盛んです。(私のチーム練習は100人登録されており、30名先着で参加できます。)春から秋はさらにリンクがすくなくなり、練習枠もへってしまいます。通年リンクの存在は山形だけではなく宮城福島秋田など多くのエリアの人に影響があります。</p>
	<p>6 山形のスケートリンクを利用したことが有る者です。一般の意見をお聞きくださるとのことと陳情させていただきます。</p> <p>当方スケート競技者がいたため、青森から愛知までのリンクを利用しました。スワンリンクさんにもお世話になりました。計画の要旨を拝見しましたが、県民のスポーツ振興に資するのならば通年のリンクにすべきかと思います。理由は夏場でも涼を感じるために利用できる点、必要であれば貸出防寒具を用意してそれも含めて利用しやすい施設であることのアピールをすればよろしいかと思います。また山形を代表する選手育成にも通年リンクは必須です。</p>

7	<p>私はスケート歴24年です。 現在も冬場はスワンスケートリンクを利用しています。 今後の進め方についてですが、屋内スケートリンクを整備するには、次の視点を望みます。</p> <p>1 屋内スケートリンクの設備と施設</p> <p>屋内スケートリンクの整備には、快適で安全な環境を提供することが重要です。具体的には、滑走面の材質やリンクの大きさ、照明、温度調節、音響システム、ケガや事故防止に向けた救護室等の安全対策、駐車場などが挙げられます。また、費用対効果を考えると、施設運営に伴う電気代等光熱水費の増嵩が見込まれることから、時代の要請を踏まえた再生可能エネルギーの導入や省エネ対策も考慮する必要があります。収益増への配慮として利用者増への取り組みとして、学校教育との連携や、スケートリンクの稼働時間、入場料設定なども考慮する必要があります。</p>
8	<p>施設について 通年型のフィギアスケートリンクの検討をお願いします。</p> <p>経済効果 他県との比較して特徴があり、集客が上がる。</p> <p>財政的メリット 維持管理コストの削減</p> <p>教育との連携 課外授業との連携にしても冬季間のみならず年間で設定できる 夏の暑さ対策としても有効である。</p> <p>集客効果 冬季期間のみならず、夏の猛暑が続く中でスケートリンクの来客数が増加している傾向にある。幼児から高齢者のスポーツ意欲や健康に貢献が期待できる。スケートは冬季スポーツの認識を改めるべき。</p> <p>冬季期間以外で合宿の誘致が期待される。</p> <p>競技力向上 選手育成には通年施設が欠かせない</p>

(4)仕様(規格)等について 8件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>県内に屋内型のスケート場を是非建設していただきたい、と思っています。鶴岡のリンクは30m×60mのサイズですが、屋外リンクなので利用が天候に大きく左右されます。また、開設期間も2か月余りしかありません。利用人数もその年の週末の天候によってかなりの幅で増減します。それでも細々とスポーツ少年団の活動を続けています。以前は山形市に有ったチームと対戦をしたり、合同で練習をしたり、一緒に山形県チームとして大会に参加することもありました。現在山形市の小学生チームは休会状態なので、鶴岡市の小学生は秋田や福島のチームに混ぜてもらい合同チームとして大会に参加しています。同じく合同チームを組むとしても県内のチームと組み「山形県チーム」として揃いのユニフォームを着用して大会に参加させたい、と考えております。</p> <p>東北6県の中でも屋内スケート場が無いのは山形県だけ(東北の地域でなく東日本としてもだそうですね)。知名度の低いスポーツをわざわざ他県にまで出かけて行く、というのはこれから新しいスポーツを始めようという方々にとってはかなり高い障壁(ゴルフ場なら他県へも行くかも知れませんが、練習のための「打ちっぱなし」利用のために県境を越える方が何人いらっしゃるのでしょうか?)となります。盛岡市にある「みちのくコカ・コーラボトリングリンク」というスケート場は30m×60mのフィギュアスケート・アイスホッケー用のリンクとカーリング専用のシートが2つ、それらが一つの建物の中に納まっているスケート場です。観客席は少ないものの選手控室は4つ以上あり、大会開催も充分こなせる作りになっているように感じます。新スケート場建設の参考になると思います。</p> <p>財政上はなかなか厳しいことは想像できますが、多くの年齢の皆さんに楽しんでもらえる屋内スケート場を是非是非早期に開設していただきたいと切に願ってやみません。宜しく願い致します。</p>
2	<p>屋内スケート場案、以下のように希望します。</p> <p>第一希望: 400mトラックの中にアイスリンクが併設されているタイプ</p> <p>第二希望: 通年のタイプA</p> <p>第三希望: 夏場は別のタイプB</p>
3	<p><30×60メートルの(国際規格)リンクを有すること></p> <p>フィギュアスケートの競技会を開催できるサイズであり、また一般的なリンクサイズのため、このサイズのリンクであれば、問題なく使用できるのではないかと思います。</p> <p>外側にスピードスケートリンクのある形態(例:盛運輸アリーナ)は行ったことがないのでイメージできませんが、施設面積や設備の面で可能ならば、スピードスケートの強さを維持するにはそのような形態でも良いかと思います。</p>
4	<p>・飲食店等の併設について</p> <p>人が集まりやすい設備としてカフェ等の併設という文言がありましたが、先述のとおり競技会では滞在時間の長い場合があるので、温かいものをすぐに提供できる飲食店がすぐそばにあればいいと思います。もし子どもが教室に通っている間に保護者がリンクの外で待つとしたら、そういう場合の受け皿にもなるかと思います。</p>

5	<p>< ロングサイドに観客席を有すること ></p> <p>リンクができれば氷上競技の試合等が開催されることもあると考えます。であれば、出場する選手の家族や友人やファンが観るための観客席は必要だと思います。また、通年営業であれば夏季の一般利用を増やすことが必要ですが、現在県内にあるリンクは冬季営業なので、まず、スケートリンクは冬のものであるという考えをかえるきっかけが欲しいと考えます。そのきっかけとして、アイスショーの開催があると思います。多くのアイスショーは、春～秋に開催されています。その時期に山形でアイスショーが開催され、実際に会場で観たならば、そのリンクで滑ってみようということになるのではないのでしょうか。そのためには、開催できるような会場設備が必要です。そして、アイスショーに必要な設備は固定の観客席だと考えます。</p> <p>意見の募集が始まったのと同じ2月15日に、今年の夏のTHE ICEの開催日程が発表されました。気になったのは盛岡公演で、すぐそばに通年営業のみちのくココ・コーラボトリングリンクがありながら、会場はリンク設営の必要なタカヤアリーナでした。これには固定観客席の数に影響しているのではないのでしょうか。たいいていのアイスショーでは氷上席を作るので、固定席がないリンクでも、少なくとも600席ほどはできるかと思いますが、ロングサイド固定席ならば片側1列でも100席程度になり、列が多ければそれだけ集客が可能になります。THE ICEは2019年及び2022年には新潟公演が開催されていて、その会場はMGC三菱ガス化学アイスアリーナでした。毎年地方公演も開催されていますが、リンク設備と観客席のある会場である場合が多いです。浅田真央さんのツアーやプリンスアイスワールドも、地方公演の多くは既存リンクで開催されています。観客席のあるリンクであれば様々な氷上イベントの開催の可能性はあるのではないのでしょうか。オリンピックメダリストの出演するようなアイスショーが開催されれば、山形には遊ぶところがない、楽しいことがないという印象の払拭にもつながる可能性があると思います。</p> <p>また、2021年のスターズオンアイス八戸公演(会場はFLAT HACHINOHE)、2023年のスターズオンアイス奥州公演(会場は奥州市体育館であり既存リンクではない)のように羽生結弦選手が出演する公演であれば、県外のみならず国外からの観客も来県する可能性があり、影響はリンクだけにとどまらないものと思います。そのような、周辺に経済的好影響をもたらす機会があれば、施設自体が黒字化できなくとも、その存在意義の説明は可能ではないのでしょうか。固定席の形状については、ダイドードリンコアイスアリーナのような円形か、FLAT HACHINOHEや新横浜スケートセンター、滋賀県立アイスアリーナのような両ロングサイドか、磐梯熱海やMGC三菱ガス化学アイスアリーナのように片側か、そのいずれがふさわしいかは、どのような設備を整備するかも関わるので別に議論する必要があるとは思いますが。</p>
6	<p>リンクに必要なものはいくつか考えられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観客席 <p>体育館やプールと異なりリンクは数少ないため、普段のスポーツからプロスポーツ、イベントまで同じリンクで開催することになります。観客席がないために、プロアイスホッケー、アジアリーグを開催できるリンクは東北地方では少数です。スケートのイベント、ディズニーオンアイス人気があり、多くの観客がみこまれます。宮城県では開催できるリンクがなく、グランディ21宮城県総合運動公園のセキスイハイムスーパーアリーナで開催されます。観客席があればプロスポーツ、国体小中高の大会を開催することができます。宮城県のベルサンピアみやぎ泉は夏に氷ははられておらず、インラインスケート用の床材がしかれており、フットサルやインラインスケート(ローラースケート)ができます。フルサイズのリンクで小さいながらも観客席があるため、ベルサンピアではインラインホッケーのNARCH世界選手権日本予選が行われます。優勝するとアメリカでの決勝進出です。観客席があればいろいろな大会の開催、招致ができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採暖室 <p>車を運転できない未成年のプレーヤー(特にフィギュア)を連れてくる親にも考慮が必要です。リンクを眺めることができる採暖室がないと子どもよりも先に親がリンクにこなくなると思われます。採暖室もある程度広くて居心地がいいと、送迎する親も過ごしやすいです。リンクと同じフロアに設置するのであれば、スケート靴のまま利用できると思います。採暖室がないと一般営業時間に客がきても寒くてすぐに帰ってしまいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カフェ <p>近所にコンビニがあれば、必要ないと思います。とあるスケートリンクには年配のスケーターがいつもいて初心者に指導したり、子どもの面倒をみてくれたりしています。彼らはカフェの常連客になってくれると思います。リンクへの出入りが自由であれば、外出して購入できるので多くの利用者はリンクの周りにベンチがあれば十分です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショップ <p>スケートを研磨する必要があるため必須です。研磨だけのショップでもいいです。羽生選手もリンクのショップを利用しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・更衣室 会議室 ロッカールーム 通年貸出ロッカーや部屋 <p>フィギュアスケートは女子プレーヤーが多いため、女子更衣室が必要です。フィギュアはリンクサイドを歩き回ると演技に影響がでるため、フィギュアチームがリンクを貸切で使う場合はリンクサイド利用や歩行を遠慮する必要があります。フィギュアの次の利用者が使える更衣室(リンクサイドを通らないで入ることができる)、次のチームが指導者から説明を受ける時に使える会議室があったほうがいいです。また大会があるときには試合チームで2つ、次のチーム用に2つ、最低4つは控室が必要です。観客席やリンクサイドなどに参加チーム全てが荷物を置けるスペースがあれば尚いいと思います。</p> <p>地元のチーム(特に高校生)が通年で、大会中に参加チームが一時的に、借りて防具をおくことができる部屋があると、親の負担がへります。1台の普通車にホッケー防具が2つくらいしか積むことができません。練習、大会中に防具の移動がへると、移動の車の数をへらすことができます。バスなどでリンクへ行くことができるようになります。</p>

7	競技のことを考えれば公式サイズは必要です。大会開催にあたり絶対条件となるので、選ばれない施設となっては元もこもありません。
8	2 運営体制 屋内スケートリンクの運営体制は、施設やサービスの質を維持するために重要です。屋内スケートリンクの運営には、専門知識や経験を持ったスタッフの充実が不可欠です。アイススケートリンクの運営については、スタッフ人材の育成と確保、教育指導体制、運営マニュアルの整備などが必要であり、屋内スケートリンクの運営実績を有する地域への設置を優先することが合理的です。

(5)期待される効果について 7件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>現在、屋外リンクは県内に何箇所あり冬場のスケートは利用できています。しかし、短い冬の期間を除きますとスケートはもちろんインラインホッケーでの練習ができる施設もありません。通年リンクがあれば競技の強化でもそうですがウィンタースポーツ人口の増加にもとても期待が持てます。維持管理等の課題も重々承知しています。しかしホッケー競技をしていますと練習量が少ない為に他県とのレベルの差にとてもショックを受けます。是非通年リンクでの建設をよろしく願います。</p>
2	<p>現在の子供達へのスポーツの考え方は進化中だと感じています。偏ったスポーツでの体の負担や故障の心配の増加。複数のスポーツを体験することによる見識の広がり、筋肉や関節の多面での使用、友人や仲間の増加などを比較されることを目にします。そのような場面においても、選択肢が増える、体験するチャンス、施設がすぐそばに有る、というのは是非用意してあげたい環境だと考えています。</p>
3	<p>選手目線で1番の難点は、季節リンクだと夏の練習場所を新潟か仙台に行かなければならなくなり、交通費やリンク代などの金銭面が大変になる。そして、通年リンクの選手との点数に差が出てしまう事です。 次に、大会ができる公式サイズだと、県外から合宿などでリンクの使用をしやすくなるし、ホッケーラインを入れればフィギュアだけでなくホッケーも練習がしやすくなります。 そこに、愛・地球博記念公園のような60×30の外周に約200mの周回コースも設置出来ればスピードの強化にもなると思います。 現在酒田市ではスワンスケートリンクで、スケート選手だけでなく【課外授業】という幼稚園から高校まで授業の一環として子供達もリンクを使用しており、子供達はそこに向けて土日や祝日だけでなく、学校帰りに寄って練習をしていく子もいます。鶴岡や三川からも課外授業が入っています。そして、課外授業後には「楽しかったからまた来たよ」と再度遊びに来てくれる子もたくさんいます。スワンスケートリンクが無くなることで子供たちの楽しみややりがいが減ってしまうのはやるせないです。</p>
4	<p>子供がある程度小さい場合は、べにっこランドなどの室内遊戯場が出来たおかげで遊べるが、小学校中学年頃を過ぎると子供達の過ごす場所がない。夏場はプールもあるが、冬はスキーは費用の問題もあり、気軽ではない。 屋内スケート場があると、幅広い年代層にとって、心身ともに健康で過ごせるよい機会が得られると考える。健康で幸福度の高い、県になってもらいたいです。</p>
5	<p>屋内スケート施設を作ることによってスポーツに親しむ人が増え、将来的に選手を目指す子ども達が育っていく環境を創れたらいいなと思います。わくわくする場所、心躍る場所、身も心もリフレッシュできる特別な場所として、年代や障がいの有無を問わずたくさんの人が足を運ぶ施設が実現することを望みます。</p>
6	<p>山形県に屋内スケート場は必要だと思います 子供の成長に冬のスポーツ機会の提供を県として選択支を用意する意義はあると思う 今後国民スポーツ大会やインターハイのスキー競技と同じ県でスケート競技もできるのはほかの県に対しても山形の強みとなるし、運営にも会場が分散しないメリットがある</p>
7	<p>春から夏にかけてスポーツをする選手の中には花粉症の人がいると思います。スケートリンクは密閉されているので、花粉症の人も症状を出さずにプレーできます。</p>

(6)持続可能性について 5件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>利用者数を増やすこと、光熱費などを考慮すると通年ではなく半期程度の運用がよいと思われる。そのためにはリンクのどちらか一方の半分程度を屋根の高さを7m以上とする。これより、アイスリンクでない時期にバスケットコートやバレーボールコートとして利用する事ができる。そのためワイヴァンズやアランマーレの準ホームとして使用する事が可能となる。その他にもフットサル場など多様なスポーツを实践できる一大施設となる。</p> <p>冬場はアイススケート、夏場はバスケやバレーなどシーズンに合わせたスポーツ事で体全体の運動能力を高める事ができる。世界の一流スポーツ選手は子供の頃に様々なスポーツに取り組んでいることはよく知られており、トップレベルの選手輩出にもつながる。建物の半分が出張った形、スケートだけに特化しないという、柔軟な発想が効率的、恒常的運営につながる</p>
2	<p>大学生以来、アイスホッケー競技を経験し、現在、子供達もアイスホッケー競技をしています。屋内リンクが整備され、報告書(素案)にあるような効果が得られることを期待しています。</p> <p>報告書を拝見し、「持続可能な施設」に特に共感しています。分析にある通り、山形市・山形県の都市規模、スケート文化を考えると、視察された施設(FLAT HACHINOHE、磐梯熱海アイスアリーナ、新潟市アイスアリーナ)と同等規模の屋内リンクを本県で持続的に維持管理することは難しいと考えます。できるだけ小さな箱でつくり、維持管理費を縮減する施設であることが持続可能性につながります。近隣では、花巻市の石鳥谷アイスアリーナ規模で充分だと思えます。</p> <p>その分、大規模な公式大会を招致することは難しくなりますが、各競技は60M×30Mの練習場を県内に確保できることを最優先と考えれば仕方がないと思います。日常的・継続的に練習ができる環境が整うことを願っています。</p>
3	<p>維持費の必要があるので福島のように夏解氷してインラインスケートやスケートボード場として活用も出来れば良いと思う、八戸は維持費がかかりすぎる懸念がある氷を作成する必要があるので出来れば熱源のある土地、ごみ焼却施設などの排熱を利用出来れば環境負荷も軽減できると思う</p>
4	<p>九州でも東北でも通年リンクは暑い夏は維持費が高価になると思います。新庄市には雪室があり、夏でもすずしく中に米を保存していました。山形は雪が降る地域なので雪を利用できないのでしょうか。</p> <p>高速道路の出口付近や仙台港には冷蔵倉庫がありますが、スケートリンクとコラボできないのでしょうか。</p>
5	<p>採算性についても例えば商業施設と一体で考える。新潟のリンクのようにソーラパネルを多様する等いかがでしょうか。山形県は美味しいものも沢山あり魅力的な県です。これからもますます活躍されることを願っております。</p>

(7)利用者確保について 8件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>一般客のみを対象とした営業では、採算の取れないことが過去の事例や他県から明らかのため、団体競技での使用や子ども会、学校行事としての活用を促進させていく必要があると思われます。スケートリンクの周りの壁を広告媒体として活用し、民間企業の支援を受けることも検討すべきだと感じられます。スケートリンク建設に賛成ですので、是非継続的なリンク運営ができますようにご検討よろしくお願いたします。</p>
2	<p>温泉やカフェなども併設してくれれば、スケートをする人と、その家族なども巻き込んだレジャー施設として面白くなるかと思ます。</p>
3	<p>資料にあった通年リンクの運営の難しさについては、夏季はお休みして、他の催しに使うことを考える方が良いと思います。(氷の管理などがしやすいのは低い天井ですが)天井はさほど高く無くても充分だと思います。音楽のライブなどをするとしても、あちらこちらにあるライブハウスの天井は3メートル無い所は多くありますし、そのことに苦情を言う方もほとんど見受けられません。多機能型にしたら天井が高くないといけないのではないかという心配は杞憂だと思います。</p>
4	<p>スワンスケートリンクの近くにはホテルや、スーパーマーケットがあるため、現在は県外(新潟、仙台、京都など)からの利用もあります。リンクを新しく建てるならば、そういった設備のある場所に設置すれば県外からの利用者も増えると考えます。実際に合宿ができるリンクには必ず近くにホテルとコンビニかスーパーマーケットがあります。そして、製氷時の雪を駐車場等にためておけば、一般の方(お子様やハンディキャップをお持ちの方向け)の通年の雪遊びの場として、もっと人を呼び寄せられる可能性があります。スケートは生涯スポーツなのでぜひ検討して頂きたいです。</p>
5	<p>近隣の通年スケート場は、仙台アイスリンクであるが、夏場は貸切予約でいっぱいなので、通年リンクにしても、山形に留まらず近隣県からの貸切需要があるのではないかと新潟は常駐のフィギュアコーチを招いているが、同じように各種コーチを置いて、スポーツ人口の増加を図るなどの策も良さそう。フィギュアスケートの他、アイスホッケーアジアリーグの試合や、スマイルジャパンの強化試合など、話題性のあるイベントも主催してもらいたい。</p>

6	<p>多くの人に利用してもらおう工夫として、スケートリンクを眺めながら時間を過ごすカフェスペースの設置や、ヨガやストレッチなどの軽運動やサークル活動に利用できるレンタルスペースを設けてはいかがでしょうか。また、フィギュアスケートのアイスショーのようなイベントや、スケート場の空間を活かしたプロジェクションマッピング・音響・イルミネーションの演出など。子どもが歓喜し、若い人達がSNSで発信したくなるスポットになれば、利用者の幅はさらに広がると思います。</p>
7	<p>近隣に宿泊施設があればチーム合宿を受け入れることができます。秋田福島には夏リンクはなく、仙台もチームが多い割には夏の間はリンクが1つしかないため、山形は遠征、合宿先の選択肢の一つになると思われます。</p> <p>スケートの指導者がいればフィギュア、ホッケーのレベル向上が期待できます。東北にはアイスホッケーのプロチームがありますので、山形で指導してくれる人が来るかもしれません。以前私が通っていた盛岡の大学ではスケートの選択授業(残念ながら通年リンクがないため冬季のみ)がありました。一般のスケート客も気軽にレッスンを受けることができれば、スケート人口も増えるのではないのでしょうか。</p> <p>貸切以外の一般営業枠にもアイスホッケータイムを設けると夏季の夜には他県からの参加者が期待できます。</p> <p>リンクの周囲に何らかの商業施設があるとリンクへ人が集まりやすく、スケート教室の保護者も買い物ができます。私も子どもの送迎の時には重宝しました。宮城県では、仙台アイスリンクの場合はカインズホーム 屋内フットサル場 レストラン 病院があり、ベルサンピアの場合はプール野球場テニスコート、ドンキホーテ、イオン、カインズホームがあります。リンク近隣に商業施設があると人が集まりやすいと思います。</p>
8	<p>3 利用者のニーズ</p> <p>屋内スケートリンクの利用者のニーズを把握し、それに合わせたサービスやイベントを提供することが重要です。例えば、初心者向けのスケートレッスン、子ども向けのスケート教室、競技者向けのトレーニング場などがあります。利用者ニーズに応えられる指導者配置、魅力ある施設機能(休憩施設、シャワー、トイレ等)が求められます。</p>

(8)スペシャルオリンピックスについて 2件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>スペシャルオリンピックスでスケート(フィギュア)を学生の頃出会い、現在も楽しんでいます。4年に一度のナショナルゲームを目標に、一步一步コーチと共に楽しさを学んできました。残念ながら屋内リンクがなくなってから、落合のリンクで利用者の少ない時間、コロナの流行後は専用利用させて頂き続けることができました。残念ながら、スキーは立つ事も出来ないのに、スケートは、沢山成長させてくれました。</p> <p>1 屋内でフィギュアやショートトラックの出来る誰もが楽しめる、競技会も山形で出来るリンクが出来てほしいと思います。 屋内リンクのあるときは、一般のクラブの方の演技を見て刺激も頂きましたが、現在は県外しか練習ができない事から、できません。 障がいがある無しに関係なく、子どもから大人まで冬季スポーツとしてもっと利用できるリンクが出来てほしいです。よろしく願いいたします。</p>
2	<p>スペシャルオリンピックスでフィギュアスケートに参加しているアスリートの親です。</p> <p>1 通年でスケートが出来る環境にしてほしい</p> <ul style="list-style-type: none">・現在落合スケート場にて1シーズン10回以下のトレーニングしか出来ない・4年に1度の全国大会もある・市内で合宿開催ができる様に <p>2 小会議室的な部屋があると良い</p> <ul style="list-style-type: none">・人混みが苦手な障がい者もいるため <p>全くスケートに興味のない方たちの意見としてスキーをすれば良いという意見もあるとは思いますが、我々は現に競技をしています。スピードスケートリンクをお借りしてトレーニングしていますが、リンクの大きさ違うため1年に1回県外で正規の規格リンクでの練習をしています。 みんなに優しいステキなスケート場をよろしく願いします。</p>

(9)カーリングについて 15件

番号	御意見(原文まま)
1	<p>私はアイスホッケープレーヤーですが、カーリングもテレビでよく観戦しています。アイススケートの出来ない方をスケート場に呼び寄せる種目としては、かなり強い力を持っていると思います。また、年齢の上下に関わらず、始められたり、続けることが出来るスポーツの印象が有ります。こちらはやはり専用の「シート」が有った方が良いような気がします。</p>
2	<p>他県に行ってスケートをすることもあります。屋内で天候を気にする事なく、楽しめる施設を希望します。また、カーリングも人気が出てきているカーリングが出来る施設や専用のものがあるといいと思います。</p>

3	<p>昨年オリンピックで銀メダルに輝いて益々注目され、ニュースや新聞でもよく目にします。</p> <p>カーリングは、世代を問わず楽しめるスポーツです。山形に専用リンクができるのと近県からの利用者が増え、又、国際大会が開催されると山形の認知度もあがり経済効果も増えると思います。是非、カーリング専用リンク設置をお願いします。</p>
4	<p>屋内スケート場を建設するのであれば、カーリングホール若しくはシートも併設していただきたいです。</p> <p>カーリングは、オリンピックなどで話題になり人気がありますし、何歳になっても行え、車いす競技もあります。</p> <p>山形県同様、宮城県や福島県にはカーリング専用の施設がないため、盛岡市や新潟市、青森市へ練習に行っているようです。宮城や福島からアクセスの良い場所にアイスリンクを作れば、より他県からの集客を見込めると思います。ご検討をお願いいたします。</p>
5	<p>競技として期待したいのはカーリングです。先のオリンピックでカーリング女子がメダルを獲得し、競技への関心が高まっています。カーリングができる設備を整え、体験教室などが開かれるようになれば実際に体験することができますし、選手を招いた大会が開かれるようになれば、本格的な試合を間近で観戦することができます。「カーリングなら山形で」と選んでもらえる施設になればと思います。</p>
6	<p>カーリング協会に所属していますが、知人にカーリングをしていると話をすると、オリンピックで日本がメダルを獲って以降は特に、やってみたくてという反応をする人が多いです。ですが、盛岡まで片道3時間という、それでも行きたいという人は誰もいません。自分の子どもにも体験させたいと思いますが、小さい子どもには遠すぎて、なかなか連れていきません。(施設があり、競技が盛んな地域では、3歳くらいから始めている子もいる)カーリングもだいぶウィンタースポーツとしての知名度が上がっていますので、スケート施設を作るにあたっては、ぜひカーリングのシートも併設して、多くの人が気軽にカーリングを体験できるようになるとよいと思います。それにより、雪国山形のウィンタースポーツ全体が盛り上がっていくとよいと思います。</p> <p>また、カーリングは他のスケート競技と比べて、氷の状態にプレーが左右される程度がとても大きいので、せっかく新規整備するのであれば、盛岡のようにカーリング専用シートがよいと思います。</p> <p>これまで、北海道や青森、新潟、長野など、いろいろな施設でカーリングを経験していますが、フィギュアやアイスホッケーと併用のリンクでは、氷上の傷や凹凸、傾斜のために、ストーンがちゃんと進まないこともあり、専用リンクとは雲泥の差があります。</p> <p>報告書には、山形の人口の少なさを心配する記述がありましたが、新潟市よりも人口の多い仙台圏との近さを生かし、スペックの高い施設とすれば、県外からの利用も大いに見込めるのではないかと思います。</p>
7	<p>カーリングに興味のある山形県人です</p> <p>屋内のカーリング専用コートの設置を要望します</p>
8	<p>スケートリンクのみでなく、カーリング専用シートの併設を希望します。岩手県盛岡市にあるアイスリンクも同一館内にスケートリンクとカーリング専用シートがそれぞれ作られており、そういった施設になればより幅広い層の利用者獲得にも繋がられると思い、意見させていただきます。</p>
9	<p>オリンピックのカーリングにとっても感銘しました。カーリング施設は専用リンクで通年施設が望ましいです。子供たちが常に親しみスポーツとして盛んになり将来オリンピックを目指す場所を造って欲しいです。</p>
10	<p>オリンピックでカーリングをテレビ観戦し、是非体験したいと思いましたが、山形ではできないと聞き、残念に思っています。</p>

11	<p>・カーリングシートについて カーリング連盟の意見は、製氷の仕方が異なるので専用リンクが望ましいとありますが、例えば埼玉アイスアリーナのカーリングシートは、フィギュアスケーターもサブリンクとして使用しています。 カーリングシートをメインリンクとは別に整備する場合、カーリングだけで使用する想定なのか、他の競技の練習にも使って良いのか。メインリンクでカーリングもできるように整備することで試合に対応できないのか。メインとは別に整備して、異なる競技の練習をした場合、その競技とカーリングの双方に問題はないのか。そのあたりがわからないので、カーリングシートの必要性について意見を述べるのは難しいと感じます。 観客席の必要性については先述のとおり考えていますが、カーリングシートを有する埼玉アイスアリーナやみちのくコカ・コーラボトリングリンクは、メインリンク周りの観客席は充分ではないので、両立は難しいのではないかと思います。</p> <p>また、仮にカーリング連盟が要望する4面の(大会開催が可能な)カーリングシートを整備するならば、その大会観客向けにも客席は必要ではないでしょうか。であれば、フルサイズリンクが2つとそれぞれに観客席のあるような大きさの建物となり、相当な敷地面積が必要になり、維持費用も高騰すると思われます。 ただし、もしリンクが並列で、仕切る壁や柱が無く(または取り外し可能で)、氷を張ったまま覆い、他の用途に使える仕組みであれば、アイスショーや競技会開催時はカーリングシートに(カーリング大会時にはメインリンクに)観客席を仮設できるのかとも思います。そのような施設整備が可能であれば、必要時に客席を確保できるので固定席は不要になり、通常時は十分な練習場所を確保できるのではと思います。 また、リンクが2つあれば、夏季は両方の氷を維持するのではなく、片方を別の競技の屋内練習場所や涼しい遊び場として使い、もう一方は氷上利用ということもできるかと思えます。熱中症対策で外遊びが困難なときに、涼しく遊べる場所になれば、夏も利用する人がいるのではないのでしょうか。通年営業でも設備点検等は必要ですが、点検をずらせば、練習の中断もなくて済みます。 メインとサブのあるリンクの整備が規模として困難であれば、専用のシートではなく、観客席のあるメインリンクでカーリングもできるような整備が望ましいかと思えます。</p>
12	<p>先日、私は岩手県盛岡市で開催されたカーリング競技のオープン大会に参加してきました。 オープン大会にも関わらず、全国各地からカーリングの愛好者がチームを組んで参加しており大変盛況でした。関東や東北のチームはもちろん、遠方からは京都府のチームの参加もありました。 また、参加者を見ると、小学生から70歳代の高齢者まで、一緒に同じシートで競技をしていることに驚きました。更には、車いすのチームも参加しており、健常者のチームとハンデなしで試合をできていることに感銘を受けました。 このような素敵な大会が山形でも開催できたらと思いました。</p>
13	<p>テレビでカーリングをみると、生涯スポーツとしても出来るかな?と思いますが、何処で出来るのか、専用の会場があるのかなど、わからないことばかりです。</p>

14	<p>カーリング場必要性の原点・・・「カーリングは寒いからや氷に慣れているからではなく、施設がそこにあるから人が集まり普及する。」～ 近江谷杏奈さんの言葉・北見市常呂出身のバンクーバー五輪選手で現在もフォルティウス(札幌・2021年日本選手権優勝)で活躍中 「小さな街だからこそ、この街に住んで夢を実現出来た」～ ロコソラーレ吉田知那美選手の言葉・平昌五輪で日本初のメダル獲得直後、出身でチームの拠点常呂町に凱旋して語った感動の言葉です。</p> <p>特徴は地域密着の団体スポーツとして、最適な構成(4人or2人)と対戦ルールであり、なじみ易く無理の無い定着や街起こしにも貢献できることです。</p> <p>カーリング場が併設による集客効果・・・アイススケート等との複合施設の中で最も安全で一般の人が直ぐに飛び込み易い魅力を持つ冬季スポーツ特に体験講習の定期化で、最近、多くのカーリング場が集客に成功しつつある。特に北見(人口11万)や札幌では顕著で経営収入面でも貢献。</p> <p>継続性及び集客との相乗性が顕著・・・小中学校の教育、授業に最適、観光客を含む一般への体験講習の日常定期化し、経営収入面で貢献を果たせる。地域リーグ戦形式で仕事、学校が終わってからも、年齢問わず素人から経験者まで参加者だけで安全に気楽に楽しめるのが魅力</p> <p>ランニングコスト面でも500万円位/年で可能との2020年時点試算(島根県、3シート)があります。</p> <p>専用シートの必要性・・・北海道の例を見ると、併用リンク内での一時使用シートでは少人数の体験講習程度は良いが、練習試合になると不向き。専用シートは東北他県のカーリング場との差別化により大会はもとより、関東からも観光客や競技志向の選手の合宿も増える。前述の使用の継続性、他地域との差別化等で、最低3シート或いは全国大会を開催出来る専用4シートが必要である。</p> <p>鎌田優太 選手・・・盛岡へ毎週練習しに行っても継続して打ち込める魅力有るスポーツだと実証し、山形にカーリング場の必要性を訴える。現在は宮城のチームで東北代表として日本選手権(4人制&2人制)で活躍し、その試合姿は先月もテレビ生中継され、山形のラジオ局でもインタビュー特集された。</p> <p>カーリングの魅力・・・「心・技・体」は勿論、「知」も鍛えられる団体スポーツで「コミュニケーション」の生きた実践の場</p> <p>楽しみながら初心者もトップ競技選手も継続できる団体スポーツ</p> <p>「チームショット」もカーリングならではの・・・一投のストーン(石)を4人で的を狙って運ぶ</p> <p>多くの小学生から高年齢層まで、一度はやってみたいスポーツのトップ3にアンケートや各種調査に入るカーリング</p> <p>そこに、「適当な施設があるかないか」が、どの競技よりも必然で必須の要件ではないでしょうか！</p> <p>一般性と人気・・・平昌五輪、北京五輪での視聴率ではフィギュアスケートの羽生選手に次ぎ2位のテレビ世帯視聴率(ロコソラーレの準決勝、決勝ゲーム)</p> <p>又、2022年年間でのNHKニュースウォッチ9のスポーツニュースアクセス数ではW杯サッカーを抑え、北京五輪のロコソラーレが1位だった。カナダでは教会の数よりカーリング場の方が多く各街に数ヶ所あり、アイスホッケー等との併用アリーナタイプも多い。幅広い老若男女・年齢層に関係なく無理なく楽しめることが出来る。安全に練習やゲームが出来て審判等も殆ど不要のフェアでフレンドリーなゲームスポーツである。</p> <p>要望の結論・・・カーリングのスポーツそのものとしての魅力、一般性、教育性(特にコミュニケーション力向上、人格形成貢献)では、(上記箇条書き参照)理想の地域団体スポーツと確信できます。</p> <p>多くの小学生から高年齢層まで、最近「一度はやってみたいスポーツ」のトップ3にアンケートや各種調査で必ず入ってくるカーリング</p> <p>地の利も良い山形市に継続使用を確立できる施設を切に要望します。</p>
15	<p>ぜひ山形県に、屋内スケートリンクを作って欲しい。特にカーリング専用の物があると、県外まで練習試合等に行く必要がなくなるので、活動しやすくまた、競技人口も増えるのではと思うのでご検討頂きたい。</p>

(10)立地について 61件

番号	御意見(原文まま)
1	山形市にはレジャースポットの少なさにより現役世帯のターンが進んでいると考えられます。山形県以外の東北各県では屋内スケートリンクが設営されており、ウィンタースポーツの活性化や家族、子どもの遊び場として活用されてると感じております。
2	大学時代にスケートをやっていましたが、ヒルズサンピアがなくなってしまい、たまに落合のスケート場に行くぐらいになってしまいました。施設があれば、継続してやれていたかなと思いますが、他県にまで行って続けるのは大変と思い、やめてしまいました。スケート場が近くにあれば続けられたかと思うと、とても残念です。
3	結論 酒田市にフィギュアスケート国際大会が開催できる規格の屋内スケートリンクを常設設置して欲しい。 理由 本県で競技フィギュアスケートを練習できる場は冬季間の酒田スワンスケートリンクだけである。これまでの継続性や指導者、組織等を考慮して酒田市に常設リンクを整備して欲しい。
4	そもそも山形市には家族で遊べる施設も少ない現状なので、ぜひ屋内スケート場ができれば良いと思います。
5	毎年冬のスポーツとまた地域の色んな年代の人と繋がりのもてる施設です。施設の老朽化が進み閉館するのは仕方ない事なのでしょうが毎年冬のスポーツや遊び場として他の県に比べても多くのお客さんが楽しんでいただきたいと思います。どうか庄内地方の子供から大人までの憩いの場所として新たに庄内地方にスケート場を作っていただきたい。宜しくお願いします。
6	酒田市に通年リンクがあれば1年中楽しめ、公式サイズが有れば身近で大会が生で見たい！
7	私は、スワンスケートリンクでフィギュアスケートを習っています。今は季節限定で、冬しかリンクで練習できなく、また規定のサイズもないため大会用の振り付けの練習が難く、公式の大会やすべてのバジテストを地元で受けることができません。そのためわずか1時間の練習のために往復6時間かけて、近県の新潟まで行かなければなりません。庄内にリンクができれば、もっとたくさん練習ができるし、大会でも戦える技術が身につけられると思うのです。私はもっと上手になりたいし、大きな大会にも出たいです。ぜひ庄内に通年リンクの設置をお願いします。
8	娘がスワンスケートリンクでフィギュアスケートを習っております。常設リンクではないため、夏場の練習では往復約6時間かけて新潟での練習に連れて行っています。本人はたくさん練習したいにもかかわらず、我々の仕事の関係もあり、頻繁に連れて行くこともできず、練習環境が整わないのが可愛そうだなと思っています。庄内に常設リンクができれば、時間も有効に使うことができますし、公式サイズのリンクになれば、地元で大会開催やテストを受けることも可能になり、庄内空港も近いことから、県内外からの集客も見込めると思うのです。ぜひ庄内に通年リンクの設置をお願いします。
9	孫がフィギュアスケートを習っています。スケートを始めて4年、日々上達していくのを見るのが楽しみです。ただ地元のリンクは通年リンクではないので冬季間しか練習できなく、大会があっても、私も高齢のため県外まで応援に行くことができないのが残念です。庄内に通年リンクができれば、私も見に行くことができますし、これからの子供たちの未来を応援していくためにも、ぜひともよろしくをお願いします。

10	庄内の子供たちは、冬になると学校の課外授業でスケート教室があり、スケートを身近なスポーツとして楽しんでいます。運動不足になりがちな冬の期間、市街地で思いっきり体を動かせる施設があるということはとてもいいことだし、大人も子供も一緒に楽しめる施設はとても魅力的です。冬季間だけでなく、通年で練習できるようになれば、小さな子どもたちももっと上達し、将来的にトップアスリートを育てていくことも可能になるのではないのでしょうか。環境を整えることはとても重要だと思います。庄内から世界へ、ぜひともよろしく願います。
11	私はオープン当時よりスワンスケートリンクを利用させてもらっております。私の子供達も学校の体育のスケート授業や、町内での楽しみスケートなどで教え切れないほどお世話になっております。私も秋田の県立リンクや厚生年金リンクなど何か所も行ったことがあります。スワンほど人が入っていることはありません。このスワンリンクは、土日になると座る場所ない程、混み合っているリンクです。どのような形なのかは今の時代に合う施設で、多くの色々な方が利用できる場所で公式のフィギュアスケートやアイスホッケーの大会等が出来る屋内スケートリンクを、是非、庄内エリアに作ってほしいと思います。
12	孫がスケートをしていることもあり、発表会などを見にスワンスケートリンクに度々訪れています。下は幼稚園児から、年配の方まで幅広い年齢層の人たちが楽しんで滑っている様子がみられます。庄内には大学もあるのに、学生が楽しめる施設もあまりなく、天候を気にすることなく楽しめる施設が通年で利用出来るようになれば、若者の地域定着や人口の拡大や地域の活性化にもつながるのではないかと思います。今ある施設は手狭な感じなので、大会が開催できるような施設を庄内に設置願いたい。
13	娘がフィギュアスケートを習っており、スケート場までの送り迎えをしています。娘が通うリンクは通年リンクではないため、オフシーズンは新潟まで往復約6時間かけての送迎です。わずか1時間の練習のために、時間もお金もかかり、親の負担も大変です。我々親の都合もあり、本人に満足のいく練習をさせてやれないのが現状です。また、酒田に唯一ある屋内スケートリンクも規定のサイズがないため、公式の大会が出来なかったり、バジテストも全てを受けることはできません。子供たちがスケートで上の大会を目指したくても、その環境がないためにスケートを、続けたくて続けられず断念してしまうことも少なくないのです。これまでも酒田で才能のある子供たちがこの環境のため上を目指せず、途中で競技を断念せざるを得なかったと聞いております。酒田の小学校では、スケートの課外授業や子供会でのスケート教室を通して、多くの子供たちがスケートを身近なスポーツとして楽しんでいます。庄内に通年リンクができれば、競技人口も拡大するでしょうし、選手としての育成もできると思います。子供たちの未来のためにも、ぜひ庄内に通年リンクの建設をお願いしたいです。
14	庄内に通年のスケートリンク建設を強く熱望します。孫がフィギュアスケートをしており、冬季間はほぼ毎日スケート場に通っています。どんなに天気が悪くても、日々技の上達のために通う姿に陰ながら応援する毎日です。地元のリンクは夏場の営業がないために、新潟まで通わなければならなかったり、親たちの負担も相当なものです。親も子も負担が少なく、練習ができる環境を整えてあげるためにもよろしく願います。
15	屋内スケート施設のあり方に対する意見について、フィギュアスケート選手の保護者の立場からです。 希望は、庄内地域で、通年、かつ60m×30mの公式大会サイズリンクです。 理由としては、 1.スキルアップをはかる重要な時期である夏場に練習する場所がなく、他県に行かなくては行けないこと 2.保護者は仕事が休みの日または休みの日の送迎となるため、県外だと行ける日が限られ、通年で練習できる人達とのレベルの差が顕著となってしまう 3.リンクサイズが小さいと、難度の高い練習に限りがあること 4.公式サイズと違うサイズでの曲かけ練習に慣れてしまうと、いざ大会出場というときにサイズのギャップに合わせるのが難しいこと 5.他県から合宿の希望は何件か聞いたことはあるが、サイズがネックとなり断念されていること →レベルの高い選手を間近で見ること地元選手にとって良い刺激を受けられる合同合宿でのスキルアップが望めなくなっている 6.公式サイズではないことで、昇級テストの一部プログラムが地元で受けられない。また、県大会の開催も地元でできないため不便 7.スケートは生涯スポーツであるものの通年ではないことで、スケート教室やクラブに入ることをためらう人がいること 8.夏場のリンクは避暑地としても利用でき、自宅引きこもりや熱中症の予防につながる 9.現在クラブ員は庄内地域、新潟県在住であること、また、新潟県から他クラブの人も練習に来ているため、庄内地域が良い以上です。庄内地域、通年、公式サイズリンクのご検討をお願い致します。

16	<p>40代になりスケートを生涯スポーツとして始めました。普段は、酒田市のスワンスケートリンクを利用しています。そのリンクが来年度で施設の老朽化で終了と地域の情報誌で知りました。</p> <p>鶴岡にも屋外リンクがありますが、利用できる期間も短く、天気にも左右され雨や吹雪の時はとても利用しようと言う気持ちにはなりません。庄内地域に通年利用できるスケートリンクを作っていただけませんか？新潟や仙台までは移動時間もかかり、月に何度も通うのは難しいです。よろしくお願いします！</p>
17	<p>私は 酒田市にあるスワンスケート施設をもう20年以上利用しているのですが施設の老朽化などで 来年以降に運用停止だとの話を聞いたのですが他の利用者(内陸の人や県外の人も含んでのことです)との話でもスワンスケートは他を見渡しても これほど利用者の多いのはなかなかないとの話です</p> <p>子供が小さい頃は 学校の行事で利用があったり地元では冬のスポーツとして定着しているものだと思います</p> <p>鶴岡の小真木原や山形の総合にしても 屋外で天候に左右されるし専門になると 山形市近辺の場合 ほとんどの人が仙台に行くそうですね</p> <p>酒田とは言いませんが 庄内の地域に いろんな人が集まることができる公式のフィギア・アイスホッケーができる施設の開設とかを考えてもらいたいです</p> <p>今ここで地道に育っているこの環境をなくさず少しでも広がることを願います</p>
18	<p>現在ある酒田市スケートリンクが終了することにより、現スケートクラブや教室に通っている方の練習場がなくなる。また、東北に唯一ないとのこと。ぜひ、一年を通して活用できる屋内スケートリンクを作って欲しいです。カーリングの普及にも効果があり、県民の楽しみや健康のためにもなるかと思えます。ぜひ同じ酒田市に作って欲しいです。</p>
19	<p>新潟市在住です。酒田のスケートリンクに数回お邪魔しました。新潟市からのアクセスもよくなり便利な場所なので是非酒田市にリンクを継続して貰いたいです。今後のことを考えると国際企画のリンクになると大会も開催できて人が集まるかと思えます。ウインタースポーツは練習場所の確保が一番大変です。少子化の中ウインタースポーツを継続する事は難しいですが孫の代にもスケートの楽しさを体験させたいと思えます。</p>
20	<p>酒田市に屋内リンクがあることによって冬のウインタースポーツが楽しめています。冬はスポーツが夏に比べて盛んではないので、天候を問わずに運動することができる屋内リンクがあつてとても心身共に良い状態が続いています。</p> <p>唯一の楽しみであるスケートをこれからも天候を気にせずに行えることを楽しみにしています。</p> <p>庄内地方に唯一ある屋内リンクをなくすのは勿体無いので、このまま存続してほしいです。</p>
21	<p>室内スケート施設のあり方検討会議報告書を拝見しました。あり方としてはとても良い考えと思えます。</p> <p>現在、室内リンクは庄内地区(酒田市)のみ冬季間の利用になっています。スケートは運動神経がなくてもバランスや体幹が重要になってくるスポーツで習得してしまえば生涯スポーツとしても続けられます。酒田市では市内小学校4.5.6年生での課外授業も古くから行っており今現在、子育て世代の親御さんにも親しまれています。特に天候にも左右されない室内となれば週末は遊び場とし、平日は課外授業、クラブ練習、スケート教室といった利用を行なっている状態です。</p> <p>現在使用している酒田市体育館も令和5年をもって使用できなくなります、一度離れたお客さんは呼び戻すのは非常にこんなだと思います。現在使用してる設備を生かして仮設リンクを設けて本格的な室内リンク設置に向け準備していくあり方がいいのでは無いでしょうか？</p> <p>県民の健康促進、複合施設での集客、設備費等の県、市の負担、選手育成、発掘などを考えると庄内に屋内スケート施設の建設をしていただけると良いと考えます。</p> <p>冬のスポーツ大国、山形！途切れることなくスケートを続けることができるよう室内スケート施設建設をお願い申し上げます。</p>
22	<p>山形は蔵王に高地トレーニング設備もあるので、アクセスを良くする、宿泊とのセットプランなど工夫することで、よりニーズを高めることが出来ると思う。</p>

23	<p>屋内スケート施設あり方検討会議報告書を拝見いたしました。まったく同感です。特にスケートの良さは、レジャー、趣味、スポーツ競技として、それぞれに親しまれています。また、子供から大人まで、多くの方々に愛されている生涯スポーツであり、健康促進にもつながります。酒田のスワンスケートリンクでは、幼稚園や小学校の課外授業が行われています。また、スケート協会主催のスケート教室・フィギュアクラブも活発に活動されているようです。土日などは、子供会などの団体利用も多く、アシカそりのレンタル利用も大人気の様です。是非、庄内に通年利用の公式屋内リンクの建設を強く要望致します。</p>
24	<p>庄内地方に公式リンクでかつ、通年のリンク希望です 遊ぶ場所が元々少ないので通年のリンクになれば庄内地方も活性化されると思います</p>
25	<p>県外在住者ではありませんが毎年スワンスケートリンクを利用させて頂いております。親子連れや子供会、課外授業での利用など誰もが楽しめるレジャーとして、庄内地区には必要不可欠な存在になっていると思います。その文化を継続、発展させていくためにも、通年屋内で公式サイズのリンクの整備を希望いたします。</p>
26	<p>本県における屋内スケート施設のあり方について、意見を募集しているとの事で、一県民として私の考えを参考にして頂きたく、お問合せさせていただきます。私は、スワンスケートリンクを小さい頃から利用していたため、庄内地方に通年利用出来る、屋内スケート施設の設置を希望しています。ご検討の程よろしくお願いします。</p>
27	<p>今までリンクの有った酒田市に造っていただければ既に練習をしている方たちの生活リズムが変わらずに済むと思うので、その地域での建設をお願い致します。</p>
28	<p>県内には昔は室内スケートリンクがいくつかあったような気がしますが、現在室内は山形市のウェルサンピアの室内スケートリンクが閉館して以来、酒田市のリンクのみしかなくなりました。酒田市のリンクはとても良いのですが、リンク幅が公式の30m×60mではなく、小さめになっています。是非フィギュアとホッケーの試合ができるような公式の大きさの室内リンクを作ってもらいたいと希望します。</p>
29	<p>子どもと一緒にスケート教室に通っています。体育館老朽化のため来年度でスケート教室終わり聞き残念です。生涯スポーツとしてこれからもやっていきたいです。酒田市に屋内スケート施設があればいいです。</p>
30	<p>新潟県のリンクとの比較より利益を如何に上げるかが問題とされていたが、これは利用を山形県、山形市に限定しているためである。山形市は仙台市と1時間程度の通勤、通学圏内である。そのため100万人の人口を有する仙台市も加味した利益算出が必要である。仙台市からの利用者を見込むためにもリンクはアクセスしやすい場所に建設すべきである。 蔵王はアジアからも多くの方が訪れる一大観光スポットである。その中において樹氷の観光のみをされる方も多い。これは先に挙げたようにスキーが気軽にできるスポーツではないためである。(ウェアから準備する必要あり)。スケートは私服でもできるため、樹氷観光と連携した運営も可能となる。リンク施設での物産販売も行うことで、山形の観光産業の活性化にもつながる</p>

31	<p>酒田市にも公式サイズの通年スケートリンクを造って頂きたいです。 酒田にもフィギュアスケート選手はいます。また酒田にリンクがある事で、毎週のように新潟や仙台、東京などの県外からの選手も多数練習に来ています。 酒田には、現在通年のリンクがないので、夏などは仙台や新潟など、夏でも営業している通年のリンクを求めて、練習している選手も多数います。 そのような選手はリンクを利用するだけでなく、練習後には、その周辺の宿泊施設や飲食店、商業施設などもよく利用しています。仙台や新潟などの数少ない通年のリンクでは、県外から団体で合宿に来ている選手の方々が多く見られます。もちろん選手の方々だけでなく、大きなリンクだけであって、一般の方々でも賑わいを見せています。 このような通年リンクが酒田市にも出来れば、大会や合宿、スケートのイベントなどでも、十分な集客が期待でき、その経済効果はリンクや酒田市にとっても非常に大きいものになると思います。 また酒田には、休日に友人や家族で利用できるような、レジャー施設も少ないので、いつも秋田や新潟、仙台などの県外に人が流れてしまいます。酒田に数少ないレジャー施設であるスケートリンクがなくなってしまうたら、もっとその流れは急速になってしまうでしょう。 日本はフィギュアスケートのレベルが、世界でトップクラスなのに、環境に恵まれない選手が沢山います。多くの選手が他県や海外に拠点を移す中、酒田市に通年公式サイズのリンクが出来れば、多くの方が酒田に訪れ、人口減少を抑える事も出来るかもしれません。子供達、選手の未来の為に、どうぞ宜しくお願い致します。 本当に酒田にスケートリンクがなくなるのは、勿体無いことだと思います。是非とも通年公式サイズのリンクの建設をご検討お願い致します。</p>
32	<p>蔵王温泉近くの平野だと高速ICも近く、温泉宿とスキー・スケートをセットとした相乗効果も狙えると思う、スケート場利用の合宿客が蔵王温泉を利用など今後の山形の魅力創造や次世代の成長のためにも山形県に屋内スケート場は必要だと思う</p>
33	<p>酒田市のスワンスケートで、子供がスケート教室に通っている保護者です。 報告書を拝読し、ご意見を送らせていただきました。 高速道路を使って来県されることを考えると、アクセスしやすさは重要であると思いますが、スケート場が屋内外ともに庄内にあることを考えて、庄内に再び施設ができれば嬉しいです。 さまざまな方が利用できる施設が近い未来に作られることを願っています。</p>
34	<p>場所としては、山形県民が使いやすいよう、高速道路から近いところなど、検討していただけたらと思います。どうぞ宜しくお願い致します。</p>
35	<p>庄内地方への屋内スケートリンクの設置もご検討下さいようお願い申し上げます。老朽化がすすんでいます、長年スワンスケートリンクが冬の地域の人に大事にされていたと思うからです。</p>
36	<p>公共交通機関及び自家用車のどちらからもアクセスが良いこと 山形県内の交通事情を考えれば、自家用車でアクセスが良く、駐車場の使い勝手が良いことが求められるのは確かだと思います。一方で、自分自身が応援に行ったときを思い返せば、公共交通機関のアクセスの良さも考慮すべきだと思います。 例えば、テクノアイスパークやMGC三菱ガス化学アイスアリーナ、滋賀県立アイスアリーナは、駐車場が整備されており、地元の方が車で利用するには良さそうですが、最寄り駅や中心街からは少し距離があり、(主催者が臨時バスを用意する場合を除き)公共交通機関でのアクセスは、十分に利便性の高いものだとは思いません。利用案内に記載のある最寄りのバス停にはほとんどバスが来ない、競技終了まで観たら交通手段がなくなる等がその理由です。競技会となると、終了時間は意外と遅いものです。1月に特別国体を観に行きましたが、ある日は朝9時に開場し、表彰式が終わるのは21時過ぎでした。現状では山形県内はバスの本数が多いとは言えないと感じています。公共交通機関でのアクセスという点では、路線があるだけでは不十分で、通常時から本数が確保できるか、せめてイベント時に臨時便を出せる態勢や立地であってほしいです。 以前、市民会館を旧県民会館の土地へ移転するという話を何かで見たので、市民会館の土地は、リンクを建設できる広さだろうか考えたことがあります。公共交通機関のアクセスが良いのが考えてみた理由です。ただし、一方通行に面しているので、自家用車のアクセスには課題があるかもしれません。</p>

37	<p>県内に屋内スケート施設を作る事に賛成します。 私は酒田市のリンクでスケートをしています、冬期限定のリンクであるため、オフシーズンの練習場所に苦勞しています。 また、公式サイズのリンクではない為大会に向けての練習も不十分です。 酒田市のリンクでは、学校の課外教室でのスケート教室もおこなわれており、生徒達も楽しみに来てくれています。 ぜひ、庄内に通年使用の屋内公式リンクを作っていただきたく思います。</p>
38	<p>この度スワンスケートリンクの改築があり、所々の事情から庄内に1施設、三川の県有地が有力とお聞きしましたので、私見を述べさせていただきます。公の選択としては酒田市民も納得せざるを得ない判断と思われま。しかし例えば今後鶴岡の公共施設が老朽化を迎えた場合、三川に新設するのでしょうか。あるいは酒田に有用な土地があれば、鶴岡から酒田に移転するのでしょうか。おそらく元のあった場所を第一候補に検討を重ね、作られる可能性が高いのではないのでしょうか。 国内のあらゆるところで高齢化し、老朽化は進んでいると思われま。そんな中多くの地域ではその土地の特色を生かした生き残りをかけているように思われま、庄内はひとつ、という考えもわかりま。できることなら酒田にあったものは酒田の特色として、残していただけないかと存じま。特に娯楽の少ない酒田では若者にアピールできる魅力が減り、かなりの痛手となると思われま。酒田の特色である屋内スケートリンクは規模は小さいかもしれま。小中学校の授業で使われるなど酒田に根差してありま。どうか酒田から取り上げることなく、残していただければと存じま。</p>
39	<p>子供が小学生の時は学校でスケート教室があり、その日は子供たちがウキウキしながら学校に行っていたことを思い出します。私たちが小中学生の時は、毎週末スケートリンクの利用料が小中学生は無料だということもあり、他の習い事と並行させながら毎週末リンクに連れて行きました。スケート靴はスケート愛好者の方から善意で、自分の子供が履いて小さくなった靴を貸していただき、実質ただで毎週末スケートをさせてもらいました。おかげ様で20歳を過ぎた今でも、自分のスケート靴を購入して冬はスケートを上手に楽しむ大人に育ちました。帰省した時も必ずスケートリンクには何度も遊びに行きます。靴を貸してくれた方もそうですが、リンクにさえ連れて行けばスケート協会の方やスケートが上手な方が滑り方を子供たちにアドバイスしてくれて、親が滑れなくても自然に子供は上達するという環境がスワンスケートリンクにはあります。 おじいちゃん、おばあちゃんも孫や子供が滑る姿を嬉しそうにみている光景も多々ありとてもいい施設だと常々思っていました。 昨シーズンから私も自分のスケート靴を購入して滑り始め、今シーズンからはスケート教室にも通い、もうすぐプレーンテストも受けます。この年になっても新しいことを習得できる喜びを日々感じながら、指導者の方の熱心な期待に応えられるように頑張っております。スケートは滑り次第で「生涯スポーツになるな、私はスケートを頑張ろう」と決意したとたんでした。スワンスケートリンクが来シーズン限りで閉鎖になると聞いたのは、残念でなりません。私のようなものが庄内地域にはたくさんおります。娯楽の少ない地域で冬場のスケートリンクは小さな子供から老人まで(見学含む)の貴重な運動施設でもあり遊び場、交流の場です。普段着で来るだけでスケート靴を借りて気軽に楽しむことができます。どうかこのような施設をなくさないでほしいです。愛知県から社会人スケーターとしてせっかく酒田に移住してくれた若い方もおります。その子の熱心な働きぶりや情熱をこのまま酒田で活躍させてください。「スケートを広めたい」「大人も子供も、スケートの選手を山形からたくさん育てたい」という思いは大変素晴らしいものです。 毎年のスケートクラブの発表会も他地域からゲストを呼んだり、地元のスケーター達ですばらしいショーを作り上げます。たくさんの市民の方が見て楽しみ盛り上がりま。このような文化が途絶えることなく、ずっと酒田で続いていくことを切に願ひま。プランクがあいてしまうとのスポーツでもそのスポーツから離れてしまったり、へたくそになってしまったりすると思ひま。私たち市民が今まで通り最低でも冬場にはスケートができる施設の設置をどうかお願い申し上げます。 今シーズンどんなに天気が悪くても夜スケート教室に送り迎えしてくれた保護者の方や、スケートを頑張って習っている小中学生、そして私の夢をあきらめさせることなく、来シーズン以降もずっとこの地で夢と情熱がつながっていくことを願ひま。</p>
40	<p>秋田の県南在住ですが、冬期はよく利用させてもらっていたので、庄内に屋内スケートリンク場の設営をしてほしいです。</p>
41	<p>私の孫達は新潟のクラブに所属しスケートを習っています。新潟のリンクだけでは十分な練習ができないため、山形のリンクに度々練習に行っています。通年のリンクが庄内地区にできると今後非常に助かりま。是非前向きな検討をお願いします。</p>

42	山形県・庄内地区に通年の屋内スケート施設の設置を強く切望します。私も日々新潟のリンクで練習していますが、いつも同じリンクで練習するより場所を変えて練習する事でスキル面だけではなくメンタル面の強化にもなるため行っています。近隣にそのような場がなく、山形県に通年・規定サイズのリンクが庄内地区にあると非常に助かります。庄内地区でないと通う事が出来ません。是非前向きな検討をよろしくお願いします。
43	スケートリンクはスケート教室や小、中、高校の課外教室を通して東北ならではの冬のレジャー、スポーツを学べる地域交流の場として貴重な役割を持った施設であります。冬季スポーツでありながらも、屋内であれば天候に左右されることが無いという所が他のスポーツと比べ、優れた特徴があります。これからの地域活性化の一つとして何卒、庄内に通年の屋内公式リンクの建設をお願いいたします。
44	山形市は高速道路があるのでリンクの設備が整っていれば、仙台市のプレーヤー参加が期待できます。冬季だけの営業やアクセスの良くない場所だったりすると他県のプレーヤーは全くこないと思います。(とはいえ10年くらい前のヒルズサンピアには仙台市からときどき3人程度はホッケーに来ていました。)
45	建設場所についてですが、海側と利便性から酒田市が良いのではないのでしょうか。
46	私は産まれは酒田で今は別の県に住んでいますが、子供の時や帰省した時、いつもスワンスケートリンクに行き、楽しませていただきました。この度、スワンスケートリンクの取り壊しおよび新たなスケートリンク敷設に関して筆を取らせていただくものです。私にとってスケートリンクは私自身、そして家族との思い出の場所です。かといってすべてのスケートリンクがすべてから素晴らしい場所かというと、それは違います。私が現在住んでいる場所(仙台)のスケートリンクにも遊びに行きましたが、スワンスケートリンクほど賑わっており、皆んなが楽しんでいるスケートリンクは他では見たことがありません。このスワンスケートリンクの魂を受け継ぎ、再び山形県にスケート文化を受け継いでいただいと思っています。山形県殿の意向もありますので設置場所について具体的な言及はできませんが、やはりスワンスケートリンクを見ていると「庄内地域にはスケート文化が他地域より深く根付いている」と思い、庄内地域への敷設を希望したいところです。ご検討のほどよろしくお願いします。
47	自分も子供の時からいつもスワンスケートリンクに行っていた。今は、帰省する度に親子でスワンスケートリンクに行くのが楽しみでした。只、酒田にというのは、大人の事情で不味いんです。出来れば酒田にだけど先ずは庄内に屋内リンクをつくって欲しい。
48	毎年リンクを使用させて頂きありがとうございます 5年前からクラブに所属し頑張っています リンクの広さが足りない為他県へ出向きテストを受けなければなりません 3時間ほどかかるためホテルも予約します スワンスケートリンクも何度も今年度で終わるかもといわれてきました 小学校の時から課外授業で楽しんだリンクなのでなんとか大会が出来る通常の大きさのリンクを希望します そして出来れば庄内に作って欲しいです 最近倒産が増えほんとに寂しい所になってしまいました 是非ご検討よろしくお願いします
49	4 県営スポーツ施設配置の偏在解消 山形県においては県営スポーツ施設は村山地域集中となっています。県営屋内スポーツ施設の県内適正配置をとおして交流人口拡大による県土あまねく地域振興を推進する必要があります。 5 まとめ 以上を勘案しますと、建物の老朽化で令和5年度で事業を終える酒田市の「スワンスケートリンク」は、30年ほど(1994年開設)の運営実績と年間2万人ほどの利用実績、さらには充実した指導員体制を有することから、地域要望をふまえて庄内地域への県営施設設置が望ましいと考えます。

50	場所についてはこれまでの実績等から酒田市を希望します。
51	酒田市は小学校の課外授業でスケートをしており、大人も子供も市民でスケートを楽しんでいる。公式サイズの通年リンクが出来れば、一流の選手を呼べるし、集客も出来るのでぜひ設置をお願いします。
52	庄内地域に屋内スケート施設を建設することを希望します。
53	お世話になります。健康維持と冬場のストレス解消に酒田市のスケートリンクを利用させて頂いています。スワンスケートリンクが今年度で使えなくなると聞きました。仮説の施設が出来るのはありがたいです。そして新たに設けられる体育施設が庄内、酒田市に建設され出来たら通年滑れるスケートリンクであればたいへん嬉しいです。スケートはさほど体力の無い私でも出来、庄内の児童 学生さんのためにも通年のリンクであれば、体力向上 技術更新のためにどんなに良いかと思えます。どうか よろしく願います。
54	庄内に通年の屋内スケートリンクを希望します。 現在、酒田のスワンスケートリンクに毎週通い続けて5年になりました。 最初の3年は、親子でスケート教室に通いました。 その後子どもがフィギュアクラブに登録して、今では週6日片道63キロ高速道路を使い通っています。 県北ですが新潟県なので、新潟市のリンクに通った方が良いのでは？と言われるますが、家から100キロ離れており、指導料金やリンク使用料金など普通の共働き家庭には重すぎる負担で不可能です。 酒田の場合、指導面や金額面を含め継続的に続けることができます。 特に土日、祝日はクラブ練習後に一般の家族連れや若者達が楽しそうに滑っています。新潟や仙台のリンクではクラブの選手たちが滑っているので、なかなか見ることがありません。
55	新潟県からスケートに通っています。 小学一年生からスケート教室に通い、今はフィギュアクラブの練習に通っています。 練習は、月、水、木、金、土、日曜日です。いつも学校が終わってから、急いで家に帰り宿題を終わらせお風呂に入ってご飯を食べてお母さんが仕事から帰って来たら酒田に出发します。そして、スケートの練習が9時に終わって10時過ぎに家に帰る生活です。遠くてたいへんだと言われるますが、先生、クラブのみんなとスケートを滑ることが大好きだから続けられます。スケートリンクが酒田に夏も滑れる屋内リンクになってほしいです。そうすれば、大会で新潟や仙台に行かずにすむし地域のお客さんに見てもらえ、新潟や仙台のように有名な選手のみんなが来てくれると思います。
56	全国の室内スケートリンクの苦しい状況の中でも新たに室内リンクを設置するという山形県の考えに感謝しています。それが、県内唯一となった室内リンクを運営してきた酒田 市で、これまで利用していた人やこれから利用を希望している人々が使うことができるように強く願います。 ※ 御意見の詳細については別紙参照
57	孫がフィギュアスケートでお世話になっており、感謝しております。 以前は各地にあったスケートリンクが、現在では全国的にも数えるほど少なくなりました。 高名な先生のもとで指導いただいておりますが、賑わっている現在のスケートリンクが無くなることは大変残念でなりません。 庄内の地に夏も活動できる屋内のスケートリンクを強く希望します。
58	海外の有名選手や国内選手、アイスショーが開催できるような、小さい子や親子連れ、若い人達のために庄内に通年のスケートリンクを作ってください。

59	<p>通っているスケートリンクが閉鎖され 新しく建設されると聞きました。身体と心の健康のためにも 庄内(酒田市)にスケートリンクがあるのが ありがたく 新設のリンクも そうであれば、と 希望します。 特に 通年タイプであると 一年中 体力づくり リクリエーションに活用出来 県外からのお客様にも 楽しんで頂けるものと思います。ご検討よろしくお願いたします。</p>
60	<p>スケート場を酒田市に常設してください。 子供達が学校のスケート教室で慣れ親しんでいますし、体力向上の為に子供からお年寄りまで楽しめるスポーツだと思います！</p>
61	<p>報告書を拝見しました。 コストのハードルが高そうです。 酒田住民としては、庄内地区に建設して欲しいところですが、慣れ親しんでいるスワンリンクが老朽化し、存続が危ぶまれていると聞いたことがあります、その建替えを含めて、酒田市や市周辺町村、県とで検討していただけたらと思います。内陸には蔵王をはじめ、スキー場が多くありますが、そうでもない庄内地区には、屋内スケート施設があっても良いのではないかと思います、人口比で言えば、村山地区、県庁所在地に、という声が圧倒的に大きいかも知れませんが、落合の屋外スケート場もあることですし。現状で、庄内地区では、スケート教室やクラブの練習、週末の小児料金無料などで 一定数の利用があるものと感じております。 施設のあり方としては パターンABのどちらかと言えば、Bの八戸方式が魅力的ですが、コストの点からはAになっても仕方がないのかも知れません。</p>

別紙 (10) 立地について 番号 56

「屋内スケートリンク施設あり方検討会議報告書」拝見しました。

限りある予算の中で屋内リンクを設置するということは大変なことと思います。しかし、酒田市はこれまでその役割を担い、山形県で唯一となってしまった屋内リンクの存在をなくさないように頑張ってきて維持してきました。私も数年の短い間ですが、現場で維持管理を行う方の努力や利用状況を見てきているため、現在、スワンスケートリンクが置かれている状況を心苦しく思っています。

コロナ禍前は、休日にはレジャーで訪れる家族連れや学生の集団、デートで訪れる大学生や社会人で受付に行列ができていました。そして平日にはお孫さんを連れて昔に覚えたスケートを一緒になって行っているおじいさんおばあさんの姿、常連のベテランスケーターなど、こんなに広範囲の年齢や目的が違う人達が一堂に会して、もめごともなく楽しく過ごすことができるスポーツ施設はないのではないかと感動を覚えたほどです。今シーズンはようやく活気を取り戻しており、休日などは座るベンチを探すのも大変な時もあります。

初めはスケートをちょっと滑られるようになったらいい程度で参加した大人向けスケート教室でしたが、親身になって指導してくださる指導員や日々滑りやすい環境づくりに励んでいるスタッフの方々、そして長く利用している常連のベテランスケーターの方などと過ごすうちにいつしか自分も本格的に練習を行うようになりました。

きっと話だけを聞いたら私は特別な存在のように感じるかもしれません。スケートと出会うまで私は色々なジムや習い事を始めようにもシフト制の仕事がネックで何もスポーツを行えないようなインドアな人間でした。庄内で毎週決まった曜日の習い事は難しいのか、NHK カルチャースクールも鶴岡からなくなり、女性が始められるのはジムかジョギングかヨガと限られているように感じます。オンライン講座を利用している人も多いのですが、山形県として利益があるのかまでわかりません。いつの時間に行っても welcome な環境のスケートリンクがあり、自分のペースで進められる。そして何より自分がどうしたいか相談できる人がリンクに複数いたことが長く続けられている要因だったのだと思います。選手を目指す人、発表会に参加する人、指導する側になる人、楽しくそこで集う人との交流を楽しむ人など本当に多くの選択肢が広がっていると思います。

スケートは幼少期から始める競技スポーツとしての面と私のように大人になってから始める生涯スポーツとしての面を持ったとてもよいスポーツだと思います。庄内地区では現在も指導員の方が熱心に指導して下さっていますが、宣伝力が弱いためなかなか広く県民市民に伝わっていないのが現状だと個人的に思います。特にフィギュアスケートは大人から始めても楽しめるスポーツであると感じています。テレビで見るフィギュアスケートはトップ選手です。採点できるレベルに行くまでに何年も掛かることやそれとは別に表現としての楽しみがあり何歳になっても続けられることなどリンクに行ってみないとわからなかったことがたくさんありました。この思いがより多くの地元の大人の方々にも伝わると良いのに思っています。大きな大会があった週末には初めてスケートに来る若い人たちや家族連れが楽しそうに慣れないながらも滑る姿が印象的でした。「1 回行ってみよう」でリンクデビューをするにはスワンスケートリンクはとても良いリンクだと思っています。これが継続した利用や生涯スポーツとしての利用に繋がるためにも通年リンクならという思いがあります。

障害のある方が取り組むスポーツとしてウインタースポーツはなかなか選択肢にないことは事実だと思います。しかし幼児教室での少人数で色々な道具を使いながらの指導をみていると授業の一環として取り入れるのはよいことではないかと思います。地元の小学校や幼稚園の授業や部活の冬季練習の一環として利用しているようで、内陸のようなスポーツの選択肢の少ない庄内では屋内リンクのアイススケートリンクは必要不可欠な存在なのではと感じています。

内陸と違い酒田は冬季間の行動範囲が限られています。陸路空路とも遮断されてしまうことも多く、インドアになりがちです。夏は農作業で体を動かしているが、冬は除雪以外動いてないなんていう同世代や親の世代の声は多いです。その中でスポーツを行うというのは本当に大変なことです。子供と一緒に、孫と一緒にだなんて他の競技では難しいと思いますが、親子でスケート教室に参加して親御さんは生涯スポーツとして継続しているという方が酒田ではいらっしゃいます。通年リンクを県庁所在地以外で運営することはなかなか大変だとは思いますが、酒田市にはスケート教室の卒業生がたくさんいます。そして屋内リンクをこれまで運営し、教室などを運営するなどノウハウもあると思います。運動するなら遊ぶならスケートリンクという文化が他の市町村よりある酒田市であれば、屋内リンクを設置し生涯スポーツとして、スケートの街としても根付かせて行ける土壤があると思います。

そして付け加えるとすると夏場は観光の一部としても利用できると思います。庄内は海あり山あり色々なスポーツを行っている方々が集まりやすい場所だと思います。その中で涼しく運動したければスケートリンクも選択肢にあればよいのではないのでしょうか。プールや海水浴と違い濡れることなく過ごせるのもよいことだと思います。

リンクに外周を作ってランニングを行ったり、スタジオを設置してピラティス教室を行ったりなど活用はできると思います。また、フィギュアスケートは関東の人がわざわざホームリンク以外のリンクに合宿に行くというような状況です。県内外の合宿先としての活用も視野に入れてもよいのではないのでしょうか。より細かく言えば競技スポーツとして続ける地元選手や大学でも続けたい選手の受け入れを公益大との連携でできないのだろうかと思いつつ思っていました。

言い方はよくないかもしれませんが現在の競技選手が少ない面を逆手に取って、ペアやアイスダンスの練習場所提供として特化したり、現在増加傾向の大人スケーターへのサービス提供を特化することも集客、利益面での他リンクとの差別化ができるのかもしれませんが。また、スキー場でスキーをしなくても楽しめる現在。リンクだって滑らなくたって集客できることがたくさんあります。夏にあれだけ涼しく運動できる場所なんてないんです。もちろん通年リンクができれば、幼少期からスタートし競技者として続けていく、競技人口が増えるという道も開けてくると思います。大変なことは理解していますが、県内唯一の室内リンクが通年リンクであるのが何より望ましいとは思っています。

最後にですが、個人的なことを優先すると練習場所がなくなってしまうことが確定しつつあるなかで何もしないというのはできませんでした。締め切り最終日まで悩み、自分の現状を載せてまで意見をさせていただきました。全国の室内スケートリンクの苦しい状況の中でも新たに室内リンクを設置するという山形県の考えに感謝しています。それが、県内唯一となった室内リンクを運営してきた酒田市で、これまで利用していた人やこれから利用を希望している人々が使うことができるように強く願います。